

BeingCabinet 別パソコンへの移行手順

データをバックアップする-----	2
BeingCabinet を新しいパソコンにインストールする-----	5
データをリストアする-----	13
元のBeingCabinet をアンインストールする-----	16

2011年1月改訂

■BeingCabinet データバックアップを起動する

●ショートカットアイコンより起動する場合

BeingCabinet データバックアップ・リストアをインストール時に、デスクトップにショートカット [BeingCabinetBackup] を作成した場合、アイコンをダブルクリックします。



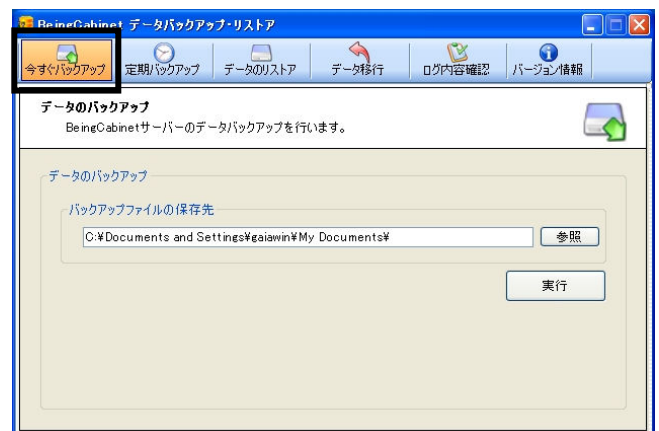
●スタートメニューより起動する場合

BeingCabinet データバックアップ・リストアをインストール時に、ショートカットをスタートメニューに登録した場合、
[スタート] — [プログラム] — [BeingCabinet] — [BeingCabinetBackup] をクリックします。



1. 「今すぐバックアップ」を選択する

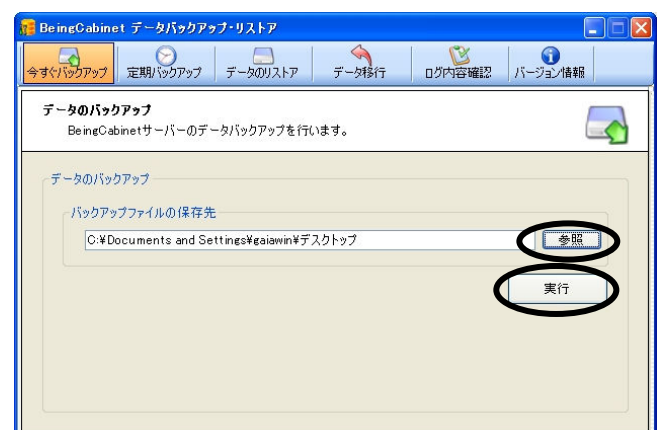
[今すぐバックアップ] をクリックします。



2. バックアップ先を選択する

バックアップデータの保存先フォルダを選択し、
[実行] をクリックします。

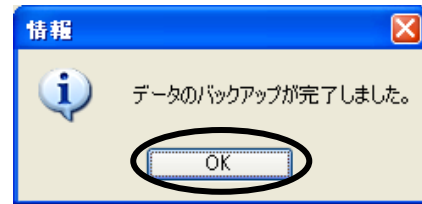
※ [参照] をクリックし、
「フォルダの参照」画面にて
バックアップ先のフォルダを選択できます。



3. バックアップが完了する

右図のメッセージが表示されると
バックアップの完了です。

[OK] をクリックして下さい。



指定したフォルダにバックアップ用フォルダが新規作成され、
その中にバックアップファイルが保存されます。

フォルダ名ファイル名 : BeingCabinet*. *_年月日時分秒.zip
(**. * は、バージョンを表しています)



例) バックアップ先フォルダが
デスクトップの場合

■BeingCabinet インストール前の確認

1. ログオンユーザーの確認

インストールを行う場合、Windows のログオンユーザーに Administrator 権限が必要です。
必ず Administrator 権限を持つユーザーでログオンし、インストールを行って下さい。

2. 動作上使用するポート番号

●BeingCabinet で使用する接続ポート

【WEB サーバー Apache】

(ポート番号)

80

8080

※WEB サーバーのサービスポートは次の順で決定します。

- 1) 80 番ポートが利用可能な場合は、80 番ポートを使用します。
- 2) 80 番ポートが利用不可の場合は、8080 番ポートを使用します。
- 3) 80・8080 番ポートが利用不可の場合は、インストールプログラム実行中にダイアログからポート番号を登録します。デフォルト値に 8008 番が設定されていますが、登録するポート番号はシステム管理者にご確認のうえ登録して下さい。

【データベース PostgreSQL】

(ポート番号)

5432

※5432 番ポートが利用不可の場合は、別のポート番号をインストールプログラムが自動的に設定します。

■BeingCabinet をインストールする

1. CD-ROM をセットする

CD-ROM ドライブに「BeingCabinet」のCDを入れて下さい。

CDが読み込まれると、自動的にセットアップメニューが起動され、「BeingCabinet セットアップ」画面が表示されます。



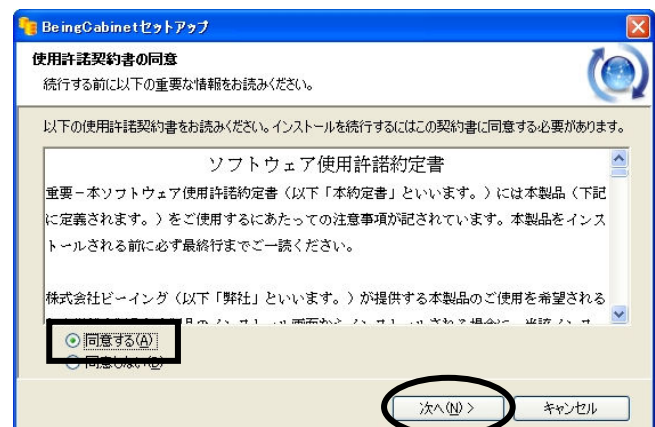
2. [BeingCabinet セットアップ] をクリックする

「BeingCabinet セットアップ」画面にて、「BeingCabinet セットアップ」をクリックします。



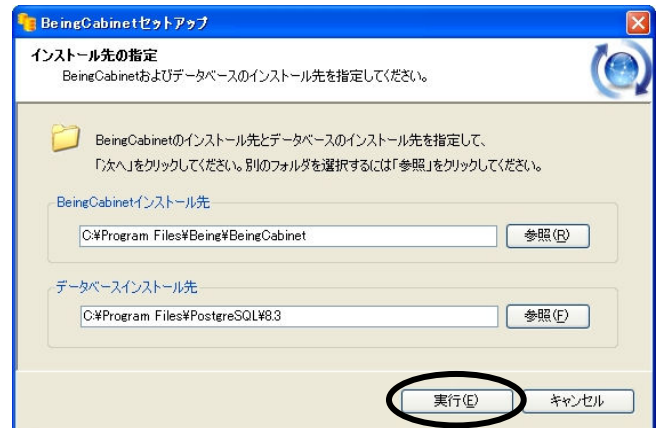
3. 使用許諾契約書が表示される

「使用許諾契約書の同意」画面が表示されます。内容をよく読み、使用許諾契約のすべての条項に同意する場合は「同意する」を選択し、「次へ」をクリックします。

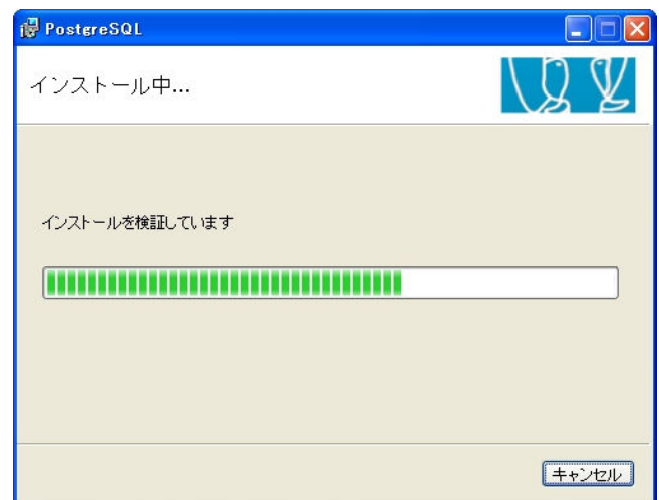


4. インストール先を指定する

「インストール先の指定」画面にて、インストール先を確認し、[実行] をクリックします。



右図の画面が表示され、自動的に PostgreSQL 8.3 のインストールを開始します。

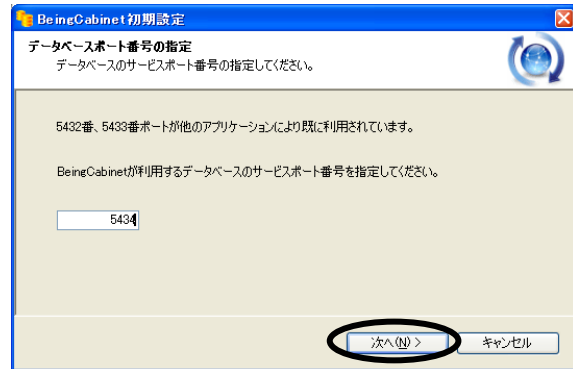




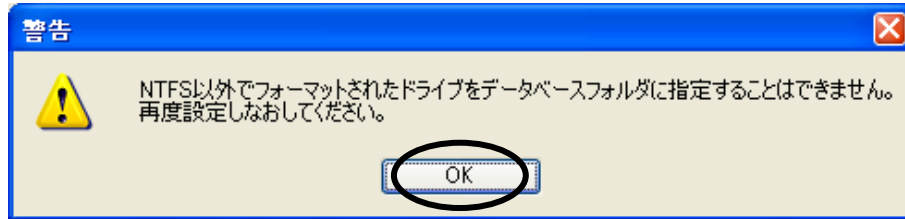
●ポート番号の決定

5432 番ポート・5433 番ポートとも利用不可の場合は、「データベースポート番号の指定」画面が表示され、ポート番号を指定することができます。(デフォルト値は 5434 になっています。)

ポート番号を入力し、[次へ] をクリックします。



● NTFS 以外でフォーマットされたドライブをデータベースフォルダに指定することはできません。・・・メッセージが表示される場合



「データベース」のインストール先ドライブは、ファイルシステム：NTFS のみに限ります。NTFS 以外でフォーマットされたドライブを指定することはできません。

- ① [OK] をクリックし、「警告」画面を閉じます。
- ②再度「データベース」のインストール先ドライブを設定して下さい。

※ファイルシステムの確認方法

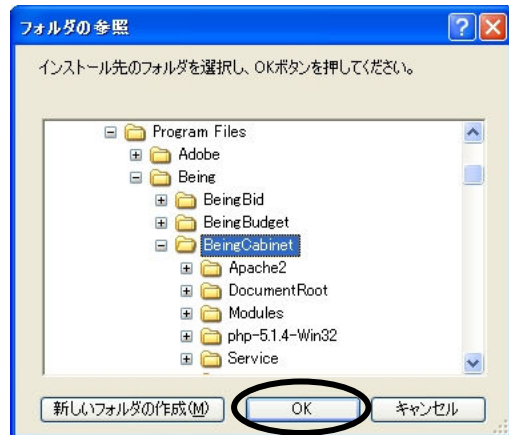
エクスプローラを表示し、ドライブにて「右クリックメニュー」の「プロパティ」をクリックします。「プロパティ」画面が表示されます。「全般」タブにて、ファイルシステムを確認できます。



●インストール先のフォルダを変更する場合

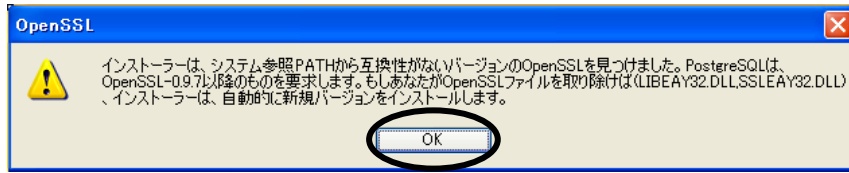
「インストール先の指定」画面にて [参照] をクリックします。「フォルダの参照」ダイアログにてインストール先のフォルダを選択し、[OK] をクリックします。

インストール先を変更した場合、「フォルダの参照」ダイアログで選択したフォルダに「BeingCabinet」フォルダが自動的に作成され、そのフォルダにインストールされます。





●インストーラは、システム参照 PATH から互換性がないバージョンの OpenSSL を見つけました。・・・という、メッセージが表示される場合

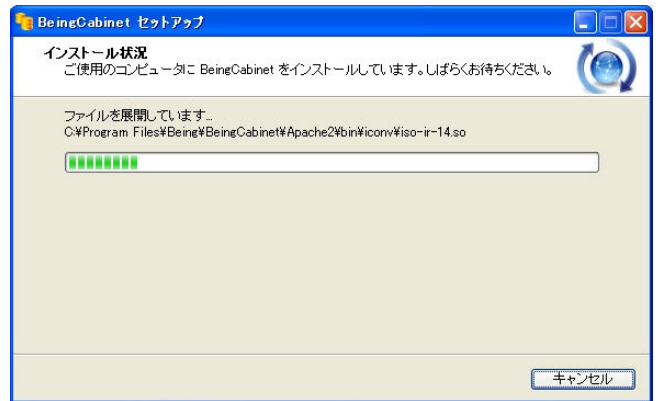


お使いのコンピュータの環境により、PostgreSQL のインストール中に上のメッセージが表示される場合があります。

BeingCabinet の動作に支障はありませんので、[OK] をクリックして下さい。

5. BeingCabinet のインストールを開始する

インストールが開始されます。

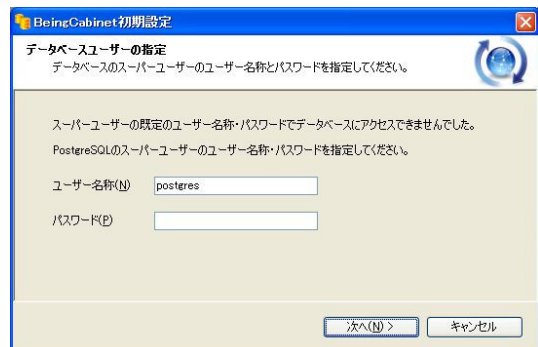


すでに PostgreSQL がインストールされている場合で、既定のユーザー名称・パスワードでデータベースにアクセスできない場合に、「データベースユーザーの指定」画面が表示されます。

PostgreSQL スーパーユーザーの

- ・ユーザー名称
- ・パスワード

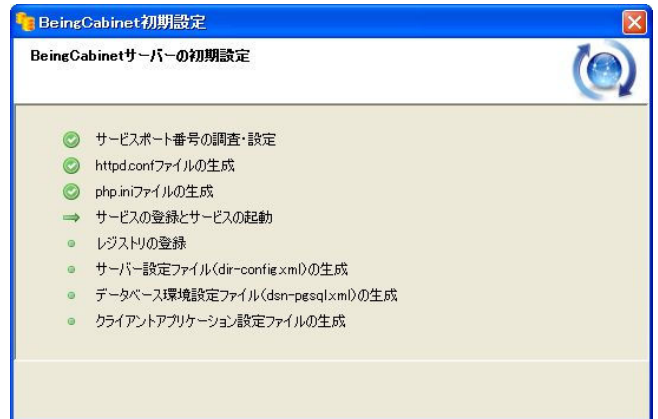
を入力し、[次へ] をクリックして下さい。



6. BeingCabinet サーバーの初期設定

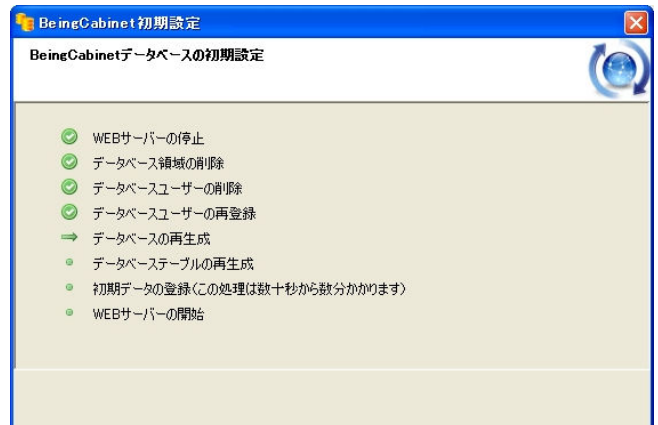
初期設定プログラムが自動的に実行されます。

時間がかかることがあります。
しばらくお待ち下さい。



7. BeingCabinet データベースの初期設定

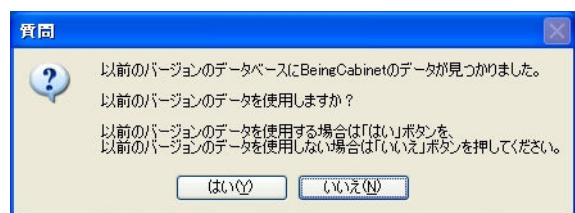
BeingCabinet データベースの
初期設定プログラムが自動的に実行されます。
しばらくお待ち下さい。



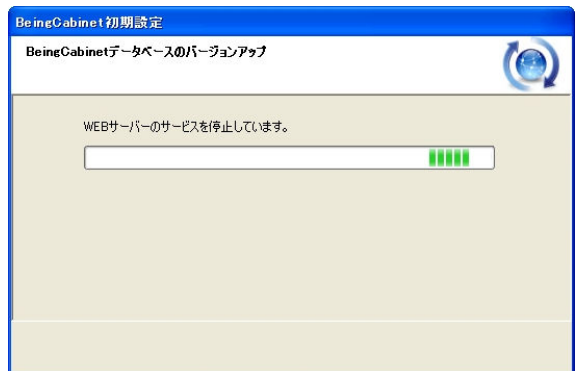
●以前のバージョンのデータベースにBeingCabinet のデータが見つかりました。

・・・メッセージが表示される場合

・ [はい] を選択すると、
PostgreSQL8.1 から PostgreSQL8.3 へ
データを移行し、BeingCabinet
データベースのバージョンアップが
開始されます。



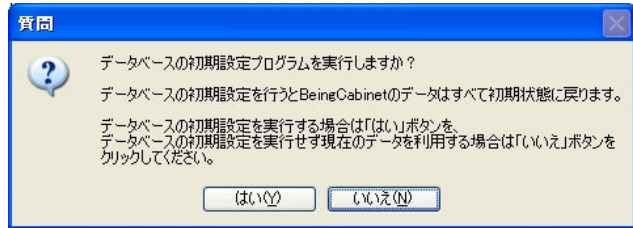
・ [いいえ] を選択すると、
既存の PostgreSQL8.1 のデータを
移行せずに、新規の PostgreSQL8.3 を
利用し、BeingCabinet の新規インストール
を開始します。





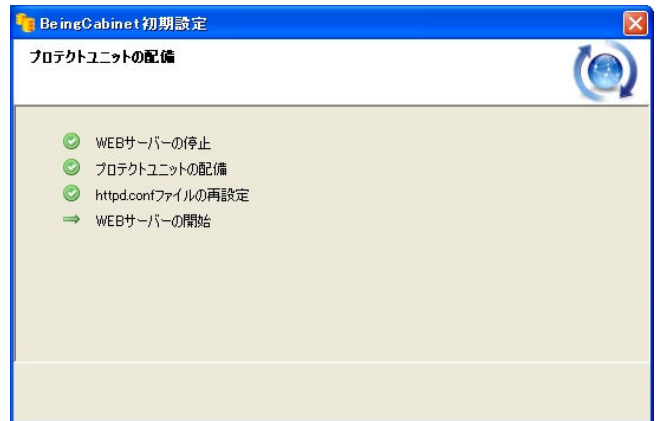
●データベースの初期設定プログラムを実行しますか？・・・メッセージが表示される場合

- ・ [はい] を選択すると、BeingCabinet のデータはすべて初期状態に戻ります。
- ・ [いいえ] を選択すると、データベースの初期設定を実行せず BeingCabinet の現在のデータを利用します。



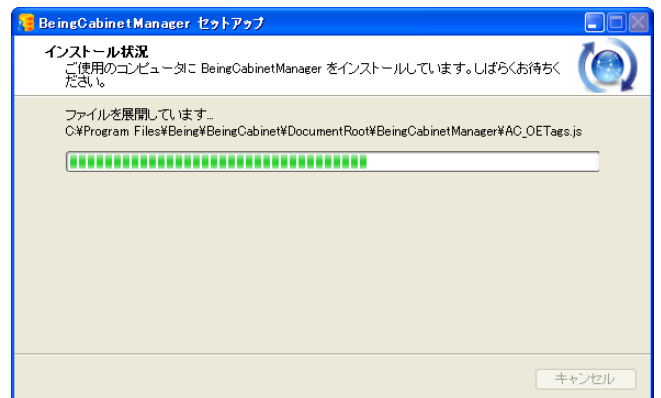
8. プロテクトドライブのインストール

プロテクトドライブのインストールが開始されます。しばらくお待ち下さい。



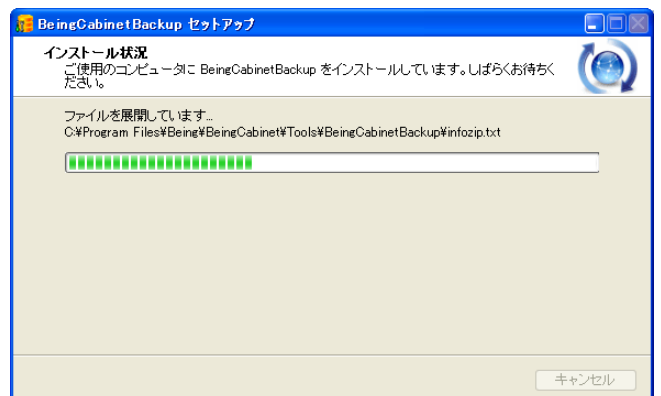
9. BeingCabinet マネージャのインストール

BeingCabinet マネージャのインストールが始まります。しばらくお待ち下さい。



10. バックアップツールのインストール

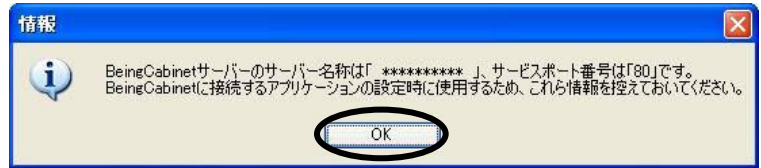
バックアップツールのインストールが開始します。しばらくお待ち下さい。



1 1. サーバー名称・サービスポート番号が表示される

BeingCabinet サーバー名称、
サービスポート番号が表示されます。

この情報を下記に記入し、
[OK] をクリックします。



上記画面で設定されているサーバー名称、サービスポート番号をここへご記入下さい。

サーバー名
(コンピュータ名)

サービスポート番号

※この情報は、BeingCabinet に接続するアプリケーションの設定時に、入力が必要になります。

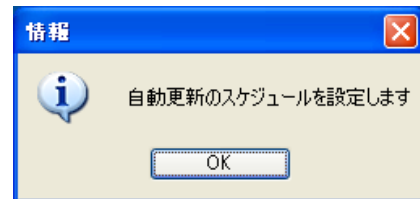
1 2. 自動更新のスケジュール設定

右図のメッセージが表示されます。

[OK] をクリックします。

ブラウザが起動して、BeingCabinet マネージャの自動
更新スケジュール設定画面が表示されます。

詳細については、BeingCabinet マネージャ操作マニ
ュアルの「[5. 自動更新スケジュールの設定をする](#)」をご参照下さい。



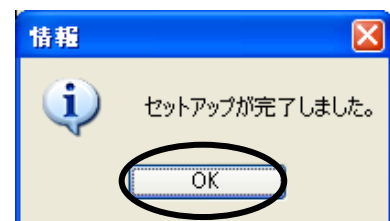
Adobe Flash Player が入っていないと、自動更新のスケジュール設定画面が動作しません。

1 3. インストールが完了する

右図のメッセージが表示されます。

[OK] をクリックします。

BeingCabinet のインストールは、完了です。



「BeingCabinet セットアップ」画面に
戻ります。

[閉じる] をクリックし、「BeingCabinet
セットアップ」画面を閉じます。

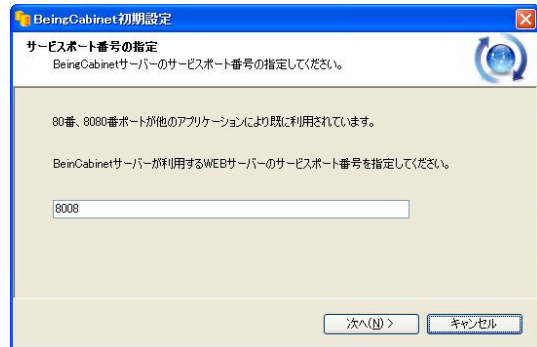




●ポート番号の決定

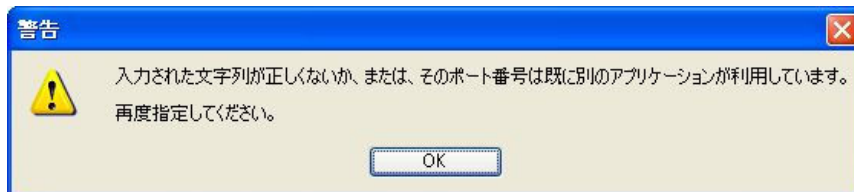
サーバーのサービスポート番号は次の順で決定します。

- ①80 番ポートが利用可能の場合は、インストールプログラムが自動的に 80 番ポートをサービスポートに指定します。
- ②80 番ポートが利用不可で、8080 番ポートが利用可能の場合は、インストールプログラムが自動的に 8080 番ポートをサービスポートに指定します。
- ③80 番ポート・8080 番ポートとも利用不可の場合は、「サービスポート番号の指定」画面が表示され、ポート番号を指定することができます。
(デフォルト値は 8008 になっています。)



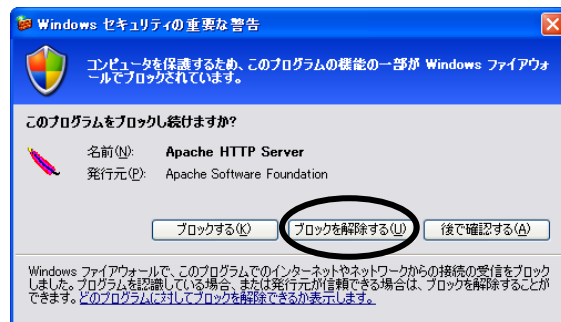
●ポート番号はシステム管理者やネットワーク管理者と協議の上決定して下さい。

別のアプリケーションサービスですでに利用しているポート番号の場合は、「ポート番号入力」ダイアログでポート番号を入力しても、以下のダイアログが表示され登録することができません。再度、別のポート番号を指定して下さい。



●「Windows セキュリティの重要な警告」画面が表示される場合

インストール中に、右図のメッセージが表示された場合、[ブロックを解除する]をクリックして下さい。

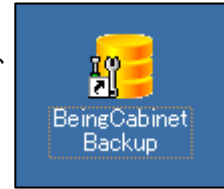


■データをリストアする

BeingCabinet をインストールしたパソコンで行います。

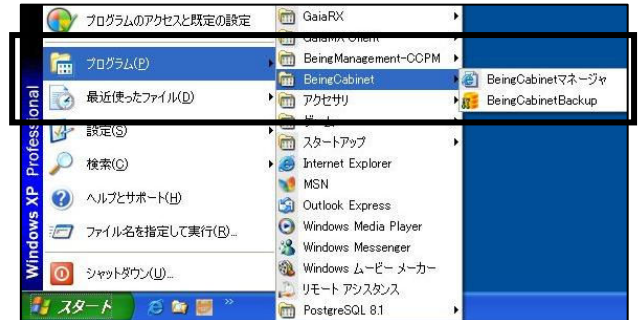
●ショートカットアイコンより起動する場合

BeingCabinet データバックアップ・リストアをインストール時に、デスクトップにショートカット [BeingCabinetBackup] を作成した場合、アイコンをダブルクリックします。



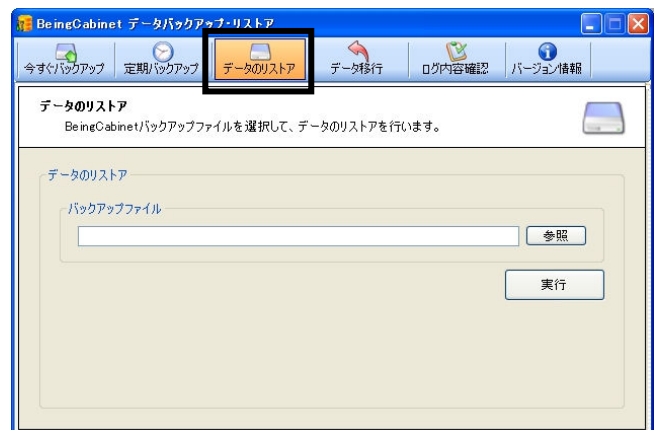
●スタートメニューより起動する場合

BeingCabinet データバックアップ・リストアをインストール時に、ショートカットをスタートメニューに登録した場合、
[スタート] — [プログラム] — [BeingCabinet] — [BeingCabinetBackup] をクリックします。



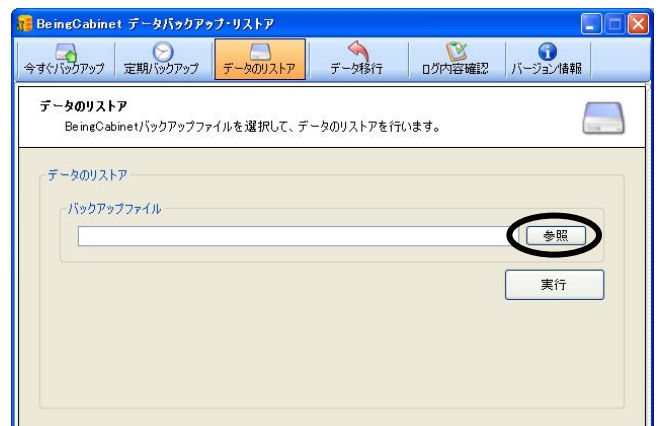
1. 「データのリストア」を選択する

[データのリストア] をクリックします。

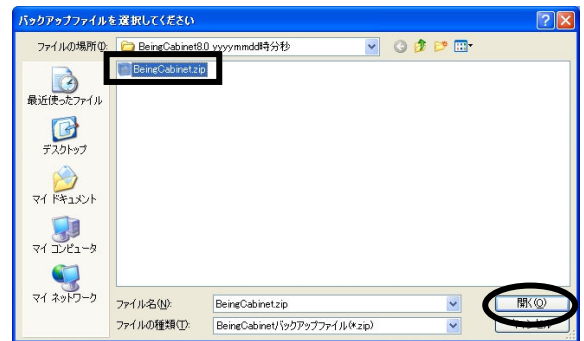


2. バックアップファイルを選択する

[参照] をクリックすると、「バックアップファイルを選択してください」画面が表示されます。

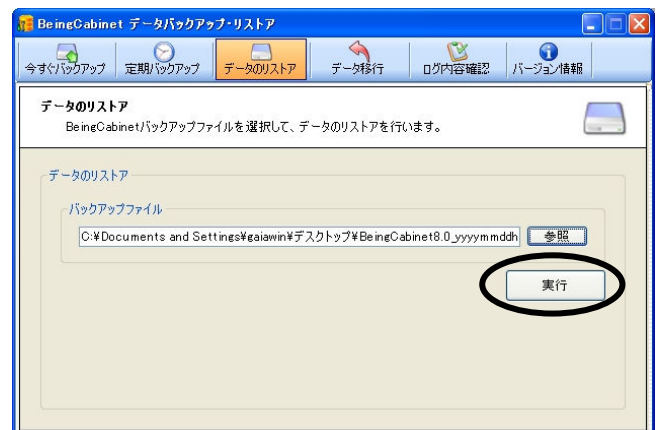


リストアを行うバックアップファイルを選択し、[開く] をクリックします。



3. バックアップファイルを確認する

バックアップファイルを確認し、リストアを実行してよろしければ [実行] をクリックして下さい。



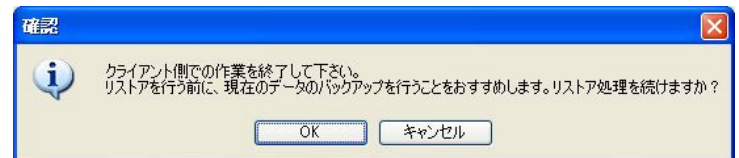
4. 確認メッセージが表示される

右図の確認メッセージが表示されます。

クライアント側での作業を終了して下さい。

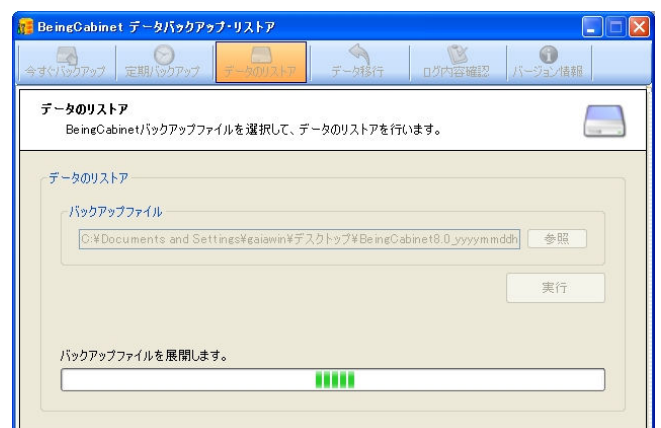
現在のデータのバックアップを行う場合は、[キャンセル] をクリックし [今すぐバックアップ] を行って下さい。

リストアを続行する場合は、[OK] をクリックして下さい。



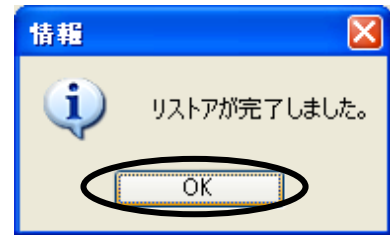
5. リストアが完了する

リストアが実行されます。



右図のメッセージが表示され、
BeingCabinet サーバーのデータの
リストアが完了します。

[OK] をクリックして下さい。



■ GaiaRX の初期設定を行う

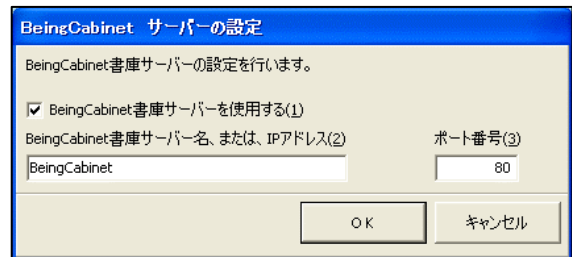
BeingCabinet サーバーへのリストアが終わりましたら、GaiaRX で BeingCabinet サーバーを再設定します。

1. GaiaRX 初期設定を起動する

「スタート」 - 「プログラム」 - 「GaiaRX」 - 「ツール」 より「初期設定」を起動します。

BeingCabinet サーバーの設定画面が表示されます。

「BeingCabinet 書庫サーバーを使用する」に
チェックを付け、BeingCabinet 書庫サーバー名
または、IP アドレスを入力し、「OK」をクリックして
下さい。



※入力していただくのは、10 ページで控えていただいたサーバー名とポート番号です。

■BeingCabinet をアンインストールする

データのリストアが正常に終了したことを確認いただいた上で、元のパソコンの BeingCabinet をアンインストールします。

1. [BeingCabinet サーバーセットアップ] をクリックする

CD-ROM ドライブに「BeingCabinet」の CD を入れて下さい。

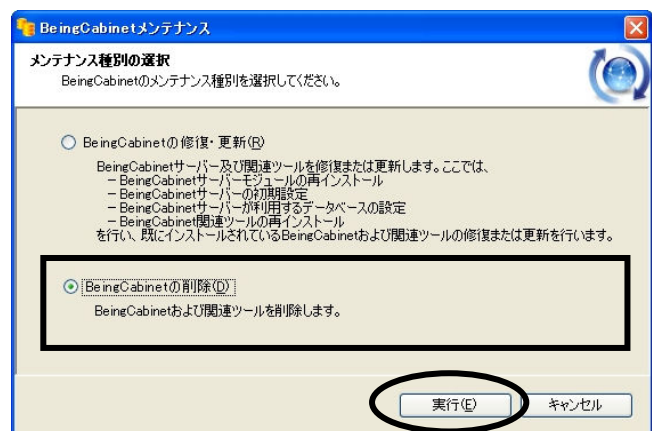
CD が読み込まれると、自動的にセットアップメニューが起動され、「BeingCabinet セットアップ」画面が表示されます。

[BeingCabinet セットアップ] をクリックします。



2. メンテナンス種別の選択をする

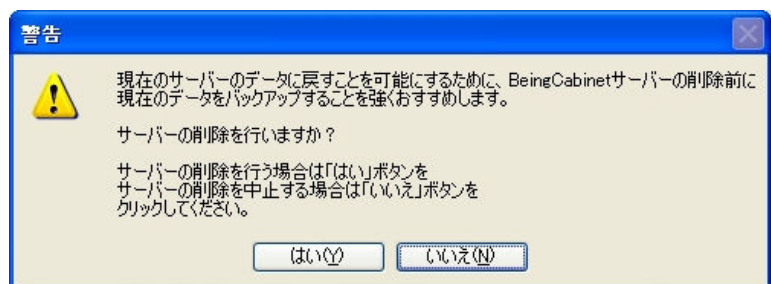
「メンテナンス種別の選択」画面にて、[BeingCabinet の削除] を選択し、[実行] をクリックします。



3. 警告メッセージが表示される

右の警告メッセージが表示されます。

現在のデータのバックアップを行わず、サーバーの削除を行ってよい場合は、[はい] をクリックします。





◆警告◆

現在のサーバーのデータに戻すことを可能にするため、「BeingCabinet サーバー」のアンインストールを実行する前に、現在のデータをバックアップすることを強くおすすめします。

<データのバックアップを行う場合>

- ①「警告」メッセージで、[いいえ] をクリックし、アンインストールを中止します。
- ②バックアップリストアにて、データのバックアップを行います。
- ③再度、BeingCabinet サーバーのアンインストールを実行して下さい。

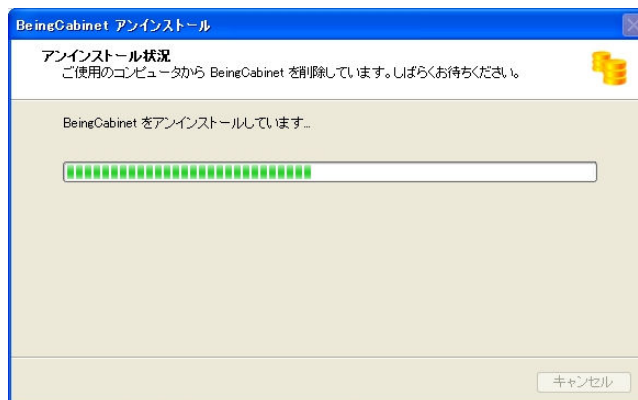
4. アンインストールを開始する

BeingCabinet のアンインストールが開始されます。



引き続き、バックアップ・リストアツール BeingCabinet マネージャの、アンインストールが自動的に開始されます。

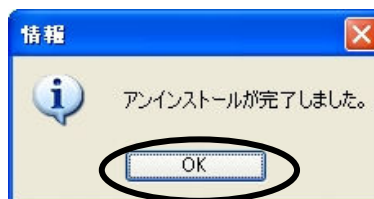
しばらくお待ち下さい。



5. アンインストールが完了する

アンインストールが完了し、右図のメッセージが表示されます。

[OK] をクリックします。



「BeingCabinet セットアップ」画面に戻ります。
[閉じる] をクリックし、「BeingCabinet
セットアップ」画面を閉じます。

